

崎村だんじり

10月21日、崎区にて「崎村だんじり」が行われました。通称は「崎村だんじり」ですが、正式には、恵比須祭の風流。海士町の指定無形民俗文化財です。

朝8時30分から三穂神社で神事をおこなった後、海士町漁協崎支所前から、40人の担い手がだんじりを担いで出発。中良公園を回って三穂神社へと、力強くだんじりを踏みしめて歩きました。

崎村だんじりは約200年前から続く伝統的な行事で、江戸時代、崎出身の北前船の船員が大阪・西宮でだんじりを見かけ、感動して海士へ持ち帰ったことが始まりとされています。



子ども4人を載せ、担い棒もあわせて重量約300kgもあるだんじり。担い手達が掛け声をかけて持ち上げ90度近くまで傾けると、大勢の見物客から歓声が上がりました。

神社の境内に到着すると、花飾りのついた椎の木の枝を各人が手折って両手に持ち、女性たちも加わって、皆でハライツチャ踊ります。そして最後は中良公園で、餅投げと記念撮影が行われました。

今年を皮切りに、今後は必ず4年に一度、開催することが決まった崎村だんじり。播摩区長は、「これからは青壮年を中心に一致団結して頑張る。他の地区の皆さんにも支えていただいて、崎だけではない『海士町の宝』として受け継いでいきたい」と語っています。



出郷者の集い、後鳥羽会

〜松江、近畿

10月6日、松江「水天閣」にて第14回松江海士後鳥羽会総会が行われ、島根県東部在住の出郷者を中心に総勢50名が集まりました。参加者の皆さんは昔話や近況報告に花を咲かせたほか、今回は会場内のスクリーンで「あまコミュニティチャンネル」の番組を上映し、海士の映像をお楽しみいただきました。次回は節目の第15回ということで、「さらに盛大な会になるよう皆で頑張ってください」（事務局）とのことでした。

翌週14日には大阪「太閤園」にて、第48回近畿海士後鳥羽会総会が行われ、200名を超える方が参加しました。有志によるモノマネや先祓い、日本舞踊などもあり、高橋真知江会長が「海士には元気のもとがたくさん。今日は大いに楽しみましょう！」と最初に挨拶した通り、大変賑やかな会となりました。



第42回 海士町産業文化祭

10月27日、28日の2日間、「第42回海士町産業文化祭」が開催されました。

屋外会場では飲食や生鮮品販売、フリーマーケット等のテントのほか太陽光発電システムの組み立てと実演、また開発センター内では書や絵画、生け花や陶芸等の造形作品などさまざまな力作が展示され、恒例の海士町ふるさと検定も実施されました。

初日は再生可能エネルギーについて考えるシンポジウム(詳細は下記)もあり、環境問題に関心の高い皆さんが多数参加。2日目は畜産共進会と地域芸能祭で、朝の悪天候で来場者の出足は鈍かったようですが、芸能祭では島民ホルの観客席がほぼ満員となる賑わいを見せていました。



畜産共進会でグランドチャンピオンに選ばれた『あやこ1』号(平成24年2月2日生まれ、体高114cm、戸嶋正史さん)。「深み、伸び、体積があり全体的にバランスがいい」との高評価。



真野さんの愛馬「ジャック・ナイフ」乗馬体験。



毎年人気の婦人会弁当。「さざえご飯」早々に完売!



今年もお見事、年々上達する海士小の民謡クラブ。



たいようのおみせ。手作りスイーツポテトを販売。



展示の一例。皆さんの力作は見ごたえ十分。



ファン待望(?)、海士の工事諏訪麻呂一座(中里区)。

お知らせ&参加募集

12月1日、住民参加の環境イベントとして太陽光エネルギーを手作りするワークショップを開催します。お問い合わせは環境整備課まで。【TEL】2・1825(渡辺)

全国モーターボート競走施行者協議会拠出金事業

『海士の資源を見つめよう』

(主催:海士町環境整備課・産業創出課、協力:株式会社巡の環)

シンポジウム

参加者は朝9時から「海藻センター」を見学し、その後は島民ホールに場所を移して講演や研究発表を聴講、そして全員参加の意見交換会を行いました。ホールに集まった町民は約100人。中には隠岐島前高校から8名、海士町のエネルギー政策や海藻バイオマス等に関心の高い生徒も参加し、講師の後藤敏彦さん(NPO法人環境経営学会理事)へ積極的に質問をぶつける姿も見られました。



午後は、海士の地下水流動系を4年にわたり研究している草野由貴子さん(東京大学大学院)から、海士の地下水と長期気候変動のつながりについて発表があり、寒冷期にたまった地下水が存在する可能性が示されました。環境整備課から海士町の新エネ・省エネへの取組みが説明された後、最後は活発な意見交換が行われ、「水資源の重要さが分かった」「風力発電を推進してほしい」「こういうイベントだけではなく日常的に役場と住民と一緒に考える双方向のコミュニケーションがあるといい」などの貴重な意見が多数出ました。